

平成 25 年 9 月 27 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 25 年 9 月 27 日 (金曜日)

午後 2 時 45 分から午後 4 時 15 分まで

2 場 所 上通小学校 多目的教室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	矢沢 康子
教育総務課長	若月 和浩	教育施設課長補佐	山口 克彦
学務課長	田村 均	学校教育課長	田中 仁
子ども家庭課長	佐藤 正高	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長	武樋 正隆	中央図書館長	金垣 孝二
科学博物館長	山屋 茂人	学校教育課主幹兼管理指導主事	大矢 慎一
学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹	学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史
スポーツ振興課長補佐	風間 良平		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	茂田井裕子	教育総務課庶務係長	水内 智憲
教育総務課庶務係	大橋 悠子	学校教育課学校支援係長	金澤 俊道

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 41 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について
3	第 42 号	附属機関委員の委嘱について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、中村委員及び加藤委員を指名する。

日程第 2 議案第 41 号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 41 号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。先ほど、定例会前に被表彰候補者の功績等について内申者からヒアリングを実施した。そのヒアリングを踏まえ、各被表彰候補者について、被表彰者として適しているか否かを決定したい。

(大橋委員長) 植木萌心さんについて、被表彰者として決定してよろしいか。

[全員了承]

(大橋委員長) 高野万優さんについて、被表彰者として決定してよろしいか。

[全員了承]

(大橋委員長) 酒井碧里さん、高野未来さんについて、被表彰者として決定してよろしいか。

[全員了承]

(大橋委員長) それでは、内申のあった者全員を被表彰者として決定する。

日程第3 議案第42号 附属機関委員の委嘱について

(大橋委員長) 議案第42号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) 教育委員会の附属機関である長岡市公立学校通学区域審議会委員の任期が9月30日で満了する。そのため、平成25年10月1日から2年間の任期で新しい委員を委嘱することとなる。委員については資料の記載のとおりである。新任が12名でそれ以外は再任である。委員の選出にあたっては各中学校区から1名ずつ選出し、その他に中島小学校、表町小学校、神田小学校区からそれぞれ1名選出し、小・中学校長会からの推薦により2名選出している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 中学校区以外に、中島小学校、表町小学校、神田小学校区からそれぞれ1名選出する理由は何か。

(若月教育総務課長) 原則は中学校区より選出するのだが、中島小学校、表町小学校、神田小学校区については市内中心部にあり、かつ、子どもの人数が減少しているため、今後のあり方について考えてもらう趣旨で選出している。

(大橋委員長) 2年間の任期の間に体調を崩したり都合が悪くなったりした場合は、代替りの委員をその都度選出するのか。

(若月教育総務部長) そうである。なお、新委員は前委員の残任期を務めることとなる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、9月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局の説明を求める。

(佐藤教育部長) まず一般質問について説明する。加藤尚登議員より、小・中学校及び保育園の給食の完全米飯化について質問があった。このことについて、子どもたちに給食の楽しさと多様な食の体験をさせるため、保育園で週3回、小・中学校で週4回の米飯給食を維持するつもりであり、完全米飯化が現在考えていないと答弁した。

(矢沢子育て支援部長) 細井議員より、子ども・子育て支援新制度と長岡市の保育の方向性に関する質問として、これからも公立、私立ともにそれぞれの役割を果たしていくことが重要であると思うが、今後の方向性についてどのように考えているか質問があった。このことについて、公立、私立がこれまで担ってきた役割を今後も果たしていくことが大切であると考えているが、少子化の状況や新制度の動きを捉えながら、必要に応じた見直しを図っていくことも大切であると答弁した。また、細井議員より人口減少が進んでいる周辺地域の保育園も大切にしたい、障害のある子どもが増えているので、しっかりとした体制で臨んで欲しいという意見が出た。このことについて、地域住民の意見を聞きながらしっかりと対応していきたいと答弁した。

(佐藤教育部長) 丸山広司議員より、トンネル、橋りょう、道路、学校建物等の老朽化により、早急に改修等を要するものはどれくらいあるのかとの質問があった。このことについて、学校施設については早急に対応が必要なものはないが、これまでの計画に従って補修、大規模改修等を行っていく予定であると答弁した。併せて、今後の長寿命化策について質問があった。このことについて、今年度、「学校施設長期保全計画」の基本方針の策定に着手したので、今後は基本方針とこれに基づく計画に沿って個々の学校を調査し、老朽化の度合いによっては改築も視野に入れて長寿命化を図っていく予定であると答弁した。

次に文教福祉委員会での質問事項について説明する。丸山広司委員より、小中連携推進事業について、実施する中学校区とその取り組み内容について質問があった。このことについて、今年度実施を希望する7中学校区の全小・中学校で事業を実施することになった。具体的には、親善陸上大会の練習や自然体験教室等の合同実施

や、中学校の教員がその専門性を生かして小学校で授業を行う等の交流を実施した。今後は幼保と小中学校の連携も視野に入れて事業を進めたいと答弁した。関充夫委員より、子どもたちの安全な登下校について、通学路の安全確保のためのソフト面の対策について質問があった。このことについて、昨年、警察と道路管理者と教育委員会の3者合同一斉点検を実施し、今年度は、連携を図るための連絡協議会を立ち上げた。また、全小学校でセーフティーパトロール団体を結成しているほか、保護者や教員による立哨指導等も行っていると答弁した。中村委員より、いじめ防止対策推進法の施行に伴い、いじめ防止基本方針の策定に関する今後の長岡市の対応について質問があった。このことについて、国と県が策定する基本方針が示されたら、その内容を参酌し、長岡市独自の実行性ある基本方針を直ちに策定すると答弁した。次に桑原委員より、学校給食費の未納対応について、未納金があることで食材の調達量が少なくなる等の影響はないかとの質問があった。このことについて、特段の影響はないと答弁した。なお、未納者については電話や文書による督促を行っており、就学援助制度や児童手当からの徴収制度の利用を勧めていることも説明した。酒井委員から、2020年開催のオリンピック・パラリンピックに関連して、8月に愛知県で開催された全国中学校体育大会の出場状況について質問があった。このことについて、長岡市からは陸上、水泳、体操及び柔道競技に合計32人が出場し、陸上競技で8位入賞を果たした選手がいると答弁した。小坂井委員より、学校施設の吊り天井の耐震対策について質問があった。このことについて、長岡市の学校施設には18棟の吊り天井があり、耐震化対策実施率は5.6%であった。この18棟のうち今後9校の屋内運動場について平成27年度までに撤去を全て完了する予定である。残り9棟のうち、武道場等の施設については、武道場の耐震基準が出されたばかりなので、来年度に調査を実施し、必要に応じて耐震化を図っていく方針であると答弁した。浮部委員より、全国学力・学習状況調査の結果について質問があった。このことについて、長岡市はほぼ全国平均並みの結果であった。ただ、ペーパーテストだけでは学力は測りきれないため、今後も熱中！感動！夢づくり教育を推進し、子どもたちの学ぶ意欲等も含めて伸ばしていきたいと答弁した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 学校給食費の未納者について、生活が困窮して払えないのか意図的に

払わないのか、どのような状況か。

(佐藤教育部長) 未納者が全員そうではないが、就学援助制度を受けている人がほとんどである。生活困窮ではなく倫理観に問題がある人の未納も少なからずいる。

(田村学務課長) 未納状況は平成 24 年度末では 30 人おり、複数回答であるが、保護者の規範意識が原因であるものは 19 名いた。生活困窮による未納は 18 人であった。

(大橋委員長) 市のいじめ防止基本方針の策定は、国や県の方針を参考に策定するのか。また、学校にも策定義務があるのか。

(佐藤教育部長) いじめ防止対策推進法では、国は基本方針を策定する義務があり、県はそれを参酌して策定し、市はこれらを参酌して策定することになる。地方公共団体は策定の努力義務が課されているが、学校には策定義務がある。

(大橋委員長) 全国学力・学習状況調査に関連して、市議会議員や保護者等に教育委員会の考えや事業について、きちんと理解してもらっているか。

(佐藤教育部長) そのように感じている。長岡市の学力についてはペーパーテストの点数で言えば全国平均並みであるので特に心配することはないと考えている。長岡市では、熱中！感動！夢づくり教育を実施して子どもたちの意欲や生きる力を育み、教育センター研修や教員サポート錬成塾などを行って教員の質の向上を図るシステムも充実させている。

(青柳委員) 錬成塾で研修を受ける教師というのは自発的に参加するのか。

(笠原学校教育課主幹兼管理指導主事) 自発的に参加している。若い教師だけでなく 40 代、50 代の教師も積極的に参加している。

(羽賀委員) いじめ防止対策推進法についてであるが今回初めて保護者の責務について触れていることに驚いている。保護者の責務とはどのようなものなのか。

(金澤学校教育課指導主事) 同法第 9 条において、「第 1 項 保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、その保護する児童等がいじめを行うことのないよう、当該児童等に対し、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。第 2 項 保護者は、その保護する児童等がいじめを受けた場合には、適切に当該児童等をいじめから保護するものとする。第 3 項 保護者は、国、地方公共団体、学校の設置者及びその設置する学校が講ずるいじめ

の防止等のための措置に協力するよう努めるものとする。第4項 第一項の規定は、家庭教育の自主性が尊重されるべきことに変更を加えるものと解してはならず、また、前三項の規定は、いじめの防止等に関する学校の設置者及びその設置する学校の責任を軽減するものと解してはならない。」となっている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。質疑、意見なしと認める。なお、定例会終了後に教育委員会協議会を開催し、いじめ防止対策推進法についての理解を深めたいと思うので、よろしく願います。

次に教育委員会関係工事等の入札状況について事務局より報告を求める。

(山口教育施設課長補佐) 川口学校給食共同調理場・中学校武道場建設工事の入札状況について、契約金額は2億9,892万4,500円で、施工者は山崎・多田・田中川口学校給食共同調理場・中学校武道場建設特定共同企業体である。契約工期は平成25年9月30日から平成26年12月26日までの予定である。本件は川口中学校の敷地内で施行する請負契約で1階に川口学校給食共同調理場、2階に中学校武道場を整備するものである。現在の川口学校給食共同調理場は昭和59年に建設され、約29年が経過し老朽化が進んでいるため、現在地から川口中学校敷地内へ移転改築工事として実施するものである。また、中学校武道場は学習指導要領の改正に伴い、中学校における武道の授業が必修化されていることから柔剣道場を新築するものである。併せて、中越大震災での被災により現在使用されていないクラブハウスを解体撤去し、その機能を本施設内に整備するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 2年前の豪雨で川口中学校は床下浸水したと思うのだが、新しい施設では災害についての配慮はされているのか。

(山口補佐) クラブハウスについては2階に設置し、そこにはミニキッチンをつけて災害の際も避難所として機能するような造りにする予定である。また、高床式ではないが基礎を高くして水害に備える造りになっている。

(大橋委員長) ほかに質疑、意見はないか。ないようなので次に総合支援学校の活動状況について報告を事務局より求める。

(田中学校教育課長) 昨年度より新教育課程がスタートした。その成果として「清掃・クリーニング班」に所属し、外部指導者から指導を受けた高等部3年の丸山健

太さんが第10回新潟県障害者技能競技大会「清掃部門」で優勝した。来年には愛知県で開催される全国大会へ出場する予定である。総合支援学校卒業後は、一般企業への就職を目指している。次に、生徒の作業製品の販売についてだが、今までもアオーレ長岡内「福祉のカフェ りらん」において「食品加工班」が作るクッキーを「接客・介護班」の生徒が店頭で販売実習を行っていたが、この度本格販売することに決まった。また、イオン長岡店内「福祉の店 パレット」においても作業製品を販売する。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 清掃部門で優勝とのことであるが、具体的にどのような競技であるのか。

(田中学校教育課長) 定められた時間内に事業所のフロアのごみ掃きやモップがけ等をする作業で競うものである。

(大橋委員長) ほかに質疑、意見ないか。ないようなので次に平成25年度就学時家庭教育講座の実施について説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 平成25年度就学時家庭教育講座であるが、来春、小学校に入学する子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育講座である。対象者全てとコンタクトを取る目的で就学時検診時にこの講座を実施することが多くなってきた。この講座は平成19年度から続けているが、内容の根幹は変わっていない。強調しているのは、子育ては夢とロマンに満ちた、親も一緒に成長できる素敵なものであること、子どもの心の安定、安心は温かなぬくもりある家庭と親の愛情からであるということ、また、家庭と学校のよりよい関係があってこそ子どもはのびのび生活できるという点である。実施計画では、10月3日から開始し、56校を対象としている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 例年、保護者はどのような雰囲気でのこの講座に臨んでいるか。

(佐藤子ども家庭課長) 保護者からは、常識的には知っていたが、改めて話を聞くことができ良かったとの感想があった。よい感触である。

(大橋委員長) ぜひ継続してもらいたい事業である。

(羽賀委員) 中にはまったく興味を示さない保護者もいるようで、そのような人に

興味を持たせることができるようなワークショップなども必要ではないか。親が子育てを放棄しないように、もっと親の責務を認識させることができる話し方の工夫も必要ではないか。

(大橋委員長) そのとおりである。他に質疑、意見はないか。

それでは次に、子育て関連新制度を踏まえた公立保育園の運営方法等の検討経過について事務局より説明を求める。

(栗林保育課長) 今年の6月から10月にかけて「地域における保育サービスのあり方検討部会」により子育て関連新制度を踏まえた公立保育園の運営方法等について協議を重ねてきた。これまで出てきた課題とそれに対する意見であるが、第一に、長岡市の現状では、少子化が進み今後は入園児が減少していくということ。ただし、今現在3歳未満児は増加の傾向にあり、今後10年間は増加する見込みである。それに伴い延長保育、休日保育、病後児保育等の特別保育の利用者が増加すると見込まれる。しかし、公私とも保育士の確保が難しくなっているとともに入園児にたいしては、保育士の臨時職員の割合が高いという現状がある。これを解消するために、保育士の給与の改善や、保育士の質の向上のための研修の充実なども必要である。また、3歳未満児受け入れのために認定子ども園を増やすことも有効ではないか。施設面でも公立は老朽化が進み、私立と違って国・県からの補助金がないので整備する事が難しいので、今後は、企業との連携や公立と私立との連携、更には民営化や適正配置も考えていかなければならないのではないかと。これらの意見がとりまとめられ、10月半ばに部会長から教育委員会に提出される予定である。それを踏まえて今後の施策を考えていきたい。

(大橋委員長) 新制度はこれまでと何が変わるのか。

(栗林保育課長) 国の新制度では、教育と保育を一体的に提供することと、待機児童解消を進める施策を講ずることとしている。長岡市では待機児童はいないが、一方で3歳未満児を受け入れにくくなってきている現状があり、今後は新制度を踏まえ、より質の高い保育と教育を提供するための仕組みを作りたい。

(大橋委員長) 承知した。ほかに質疑、意見ないか。次に、引き続き中野俣保育園休園について説明を求める。

(栗林保育課長) 栃尾にあるへき地保育園である中野俣保育園を平成26年4月1

日から休園とする。現在3歳児1名、5歳児6名の計7名が在籍しており、来年3月には6名が卒園する。よって来年度は4歳児1名のみの在籍になり、地域に0歳から2歳児が一人もおらず、今後の入園が見込まれないこともあり、保護者の了解を得て休園することになった。今後は、地元の意見を聞きながら閉園する方向で対応していくことになる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。ないようなので続いて平成25年度第1回長岡市文化財保護審議会報告を事務局より求める。

(山屋科学博物館長) 平成25年8月23日に行われた第1回長岡市文化財保護審議会について報告する。新たに旧中島浄水場ポンプ室棟・浄水場監視室棟・予備発電機室棟の3つがすでに登録されている水道タンクと合わせて登録有形文化財となった。これらの管理については今後、公園緑地課が行う。その後、差茅が完了した「寛益寺山門」や馬高縄文館とともにこれらの視察を行った。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。それでは他に報告事項はないか。

(金垣中央図書館長) 中央図書館では10月27日に児童文学作家の斉藤惇夫さんを講師に迎え、講演会を開催することを報告する。続いて、中央図書館文書資料室では中越大震災9周年関連事業として、10月26日に第7回山古志の歴史を語る会を開催する。そのほか、各大学等と連携して催し物を開催するのでぜひ参加していただきたい。

(佐藤子ども家庭課長) 9月29日に第14回ながおかポニーカーニバルを悠久山公園自由広場にて開催する。都合がつけばぜひお越しいただきたい。ポニーカーニバルは支所でも行っているが、これは大規模なものである。続いて、中学生及び小学校高学年の保護者を対象とした「思春期 今しかできないコミュニケーション」講座を開催する。定員30名に対し、現在45名の応募がある。初めての取組みであるが保護者には大変興味を持ってもらっている。

(田中学校教育課長) 10月26日の午後9時から午後10時30分までの間に「熱中！感動！夢づくり教育2013前編」というテレビ番組が放送される。内容はこの事業の概要と今年度9月までに行われた各事業の実施状況の紹介である。ぜひご覧いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見ないか。ないようなのでこれをもって協議報告事項を終

了する。本日の定例会は、これをもって閉会する。

(大橋委員長) 本日、定例会の前に上通小学校と日吉小学校を訪問したので、それぞれの感想、意見をお聞きする。

(中村委員) 上通小学校を訪問したが、子ども達が元気に挨拶をする姿や落ち着いて熱心に授業を受けている姿を見ることができてとても良かった。そして総合学習において「はなはすレンコン上通プロジェクト」という活動を地域と協力して取り組んでいるのだが、今後もさらに発展させてほしいと思う。また、校舎内の掲示物が綺麗に整頓されていてトイレも綺麗に清掃されており、子ども達の愛校精神を感じた。

(大橋委員長) 上通小学校は防災教育にも力を入れており放射線量の測定を授業で行っていたのが大変興味深かった。また、「大口れんこん」を通して地域の住民と一体になり特色ある学校作りを行っており、これは一過的なイベントではなく年間を通じ継続する事業であるとのことで感心した。

(青柳委員) 日吉小学校は女性の校長であり、校長室に誰でも訪れやすいよう工夫がしてあった。また、聞き方・話し方等の人との関わりについての教育が熱心にされていた。さらに学校評議員がそれぞれの特技を生かして、畑の先生、学校林の先生として、やりがいを感じながら児童に教育しているという事に大変驚いた。

(大橋委員長) そのほか質疑、意見ないか。ないようであればこれで終了する。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員